

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	美術考古館管理事業			コード	111106	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（美術考古館）	作成者	戸谷田剛秀
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	文化・芸術の振興	
		予算科目	美術考古館管理事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	市立岡谷美術考古館条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	郷土出身の作家を中信とした美術作品及び、市内遺跡から出土した貴重な考古資料を収集・展示する生涯学習施設。文化を核にしたまちなかの賑わいの創出を図る拠点施設。		
目的	対象者	市民及び来館者	
	意 図	市民の芸術文化の振興、まちなかの賑わいの創出	

5 施設の管理運営状況

指定管理者		30年度指定管理料	円
施設における 通常業務	美術考古館の開館及び管理、運営 来館者の案内・施設の維持管理・修繕・図書資料等の販売 芸術、文化の伝承及び展示、地域等の連携		
事業の実施内容	<p>（30年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転開館5周年記念事業 ・美術考古館の管理・運営 ・オリジナルグッズなどの資料販売、委託販売を行なった ・周辺商店街等と連携したイベントに参画 ・岡谷美術考古館だよりの発行 ・美術展等の共催 ・市民ギャラリーや交流ひろばなどの施設の貸出 ・収蔵作品・資料の適切な管理 		
前年度の課題 への対応	開館5周年記念事業により魅力ある展示や各種イベント等の開催ができ、来館者への満足度やPR等ができた。また、若手アーティスト育成公募展を開催し、若手作家の育成・支援に努めた。		

6 施設の利用状況

*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *

区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 施設稼働率	0.0%	0.0%	0.0%	
年間開設日数（日）	294	300	297	302
1日の開設時間（時間）	9	9	9	9
年間利用可能時間（時間）	2,646	2,700	2,673	2,718
年間利用実績（時間）				
② 年間利用者数（人）	10,205	11,283	11,709	12,000
有料利用者数	2,280	1,875	2,316	4,350
無料利用者数	7,011	8,784	8,445	7,650
減免措置者数	914	624	948	0
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	34.7	37.6	39.4	39.7
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	10,230,128	8,772,196	8,120,054	6,477,000
経常経費	9,638,856	7,848,573	6,067,094	6,423,000
臨時的経費	591,272	923,623	2,052,960	54,000
* 臨時的経費の説明	チケット・封筒印刷			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	9,600,000	9,600,000	9,600,000	9,600,000
正規職員の人数(人)	1.20	1.20	1.20	1.20
③ 合計コスト(①+②)	19,830,128	18,372,196	17,720,054	16,077,000
前年度比		92.6%	96.5%	90.7%
財源内訳				
一般財源	19,048,671	17,187,519	16,599,637	13,815,000
特定財源	781,457	1,184,677	1,120,417	2,262,000
* 特定財源の説明	施設入館料(企画展を除く)及び資料ほか			
④ 施設使用料年間収入額	1,007,616	769,168	861,506	2,088,000
⑤ 年間減免措置額	589,350	462,050	416,250	0
⑥ 受益者負担割合	15.6%	14.0%	15.7%	32.2%
⑦ 活動一単位あたりコスト	1,885	1,546	1,338	
前年度比		82.0%	86.5%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数 前年度比 104.8%		
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額 前年度比 112.0%		

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数の確保 ・効率的な管理運営 ・郷土の芸術・文化の伝承 ・子ども達への教育や普及 	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる満足度の提供により、リピーターや新規来館者の確保を行なう。 ・地域や他施設等と連携を行い、有効的なPR及び協力を実施する。 	
改善開始時期	2019年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	111106	美術考古館管理事業
-----	--------	-----------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費	49,680		49,680	施設修繕料
役務費	131,134		131,134	保険料
委託料	1,031,856		1,031,856	保守・点検等委託料
使用料及び賃借料	398,581		398,581	緊急地震速報端末使用料他
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	1,611,251	0	1,611,251	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.20	0.10	0.30
合計	1,600,000	800,000	2,400,000

人

円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
実費弁償金		99,965	99,965	窓ガラス修理弁償
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	99,965	99,965	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	3,211,251	700,035	3,911,286

施設の運営コスト計算シート

事業名	111106	美術考古館管理事業
-----	--------	-----------

1 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
賃金職員社会保険料	281,280		281,280	臨時職員分
臨時職員賃金	1,820,462		1,820,462	臨時職員分
需用費	1,932,479	99,360	2,031,839	消耗品他（臨時的 案内パンフレット）
役務費	265,622		265,622	通信運搬費他
工事請負費		1,803,600	1,803,600	加除防除ユニット設置
備品購入費		150,000	150,000	美術関係資料購入
負担金	156,000		156,000	展示会負担金他
			0	
			0	
			0	
合計	4,455,843	2,052,960	6,508,803	

2 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.70	0.20	0.90
合計	5,600,000	1,600,000	7,200,000

人

円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
入館料及び使用料	378,350		378,350	美術考古館入館料（企画展を除く）及び使用料
財産使用料	14,256		14,256	自動販売機
総務費県補助金		412,000	412,000	県元気づくり支援金
私用電気等収入	26,505		26,505	自動販売機
行政財産管理収入	20,577		20,577	自動販売機
資料等売却	168,764		168,764	図録等売却収入
合計	608,452	412,000	1,020,452	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	9,447,391	3,240,960	12,688,351